

THE WEEKLY NEWS OF FUTTSU-CHUO

インスピレーションになろう

BE THE INSPIRATION

R I 会長 バリー・ラシン



2018~2019

楽しい例会・挑戦と感激
Cheerful Meetings, Challenging
and Touching

富津中央 R C 会長 渡辺 哲夫

国際ロータリー 第 2790 地区 富津中央ロータリークラブ 創立:1966/10/13 加盟承認:1966/12/12
RI D2790 FUTTSU-CHUO ROTARY CLUB Organized : Oct./13/1966 Chartered : Dec./12/1966

No.2552 第16回例会 2018. 10. 25 晴

夜間俳句例会 点鐘 18:00

点 鐘 : 渡辺哲夫 会長

進 行 : 神子 恒 副 SAA

ソング : それでこそロータリー

お客様 : 三枝富美代様(三枝一雄会員夫人)

平野照佳様 (平野安照会員母堂)

会長挨拶

渡辺哲夫 会長



皆さんこんばんは。初めに本日のお客様をご紹介します。本日のお客様は、毎年、夜間月見例会では大変お世話になっております三枝一雄会員の奥様と、今夜は特別参加ということで、平野安照会員のお母様の平野照佳様です。三枝会員の主催する句会に参加とのことです。

本日の例会は、毎年恒例行事となっております、夜間月見例会です。今年も大勢に皆さんに参加を頂きまして誠に有難う御座います。三枝会員ご夫妻におかれましては、今年もご指導くださいますことに、改めて感謝を申し上げます。

私も、句会に参加すること今年で4回目となりました。一昨年には、「赤とんぼ 塗ってあげたい 日焼け止め」という句で、特選を頂きました。今年も頑張って3句を考えてまいりましたが、皆さんの名句には及ばないとは思いますが、毎回、参加することに意義があると思っておりますが、今年は特に会長年度でもあり、特選、選句のほど、よろしく願いいたします。

さて、先週の20日の土曜日に開催されました、第5グループの情報研修会。小野恒靖研修リーダー、須藤 隆副研修リーダー、そして神子勝美幹事、大変ご苦労様でした。統一テーマが「わかりやすいロータリー」と題して、～職業奉仕委員会を再考する～、プレゼンターは、地区奉仕 PJ 統括委員会委員長の平野和弘(木更津 RC)様で、平野氏は自分の経験を踏まえ、約1時間プレゼンテーションが行われました。私としては初めて知るロータリーの内容があり、とても勉強になり有意義な時間を過ごさせていただきました。研修の成果を、これからのロータリー活動に生かし行きたいと思いました。

そして、休憩をはさみ質疑応答が行われましたが、全体的に参加者が少なく、懇親会では、多くの会員が欠席し、今一盛り上がり欠けた研修会となりました。

最後に、句会の終了後は、反省会を含め懇親会となりますが、三枝会員ご夫妻により選句されました俳句を、酒の肴に楽しく懇親を深めていただきたいと思いますよろしく願いいたします。

〒293-0043 富津市岩瀬 841-3

いち川旅館 Ichikawa ryokan

841-3 Iwase Futtsu-shi Chiba-ken,

Tel. 0439-65-0177 Fax. 0439-65-0178

URL <http://www.futtsuchuo-rotary.org>

Mail home@futtsuchuo-rotary.org



会長報告

今日10月25日は、世界ポリオデーです。ポリオ撲滅の実現まで後少しです。ポリオ撲滅に向け、会員皆様のご寄付を今年もよろしく、ご協力くださるようお願いいたします。

幹事報告

神子勝美 幹事



1. 「地区大会」参加配車について

- ① 開催日:2018年10月28日
- ② 開催時間:受付 8時30分
点鐘 9時30分
- ③ 開催場所:ホテルニューオータニ幕張
※ 参加者車両乗り合わせの上出席をお願いします。(同乗組み合わせ確認)

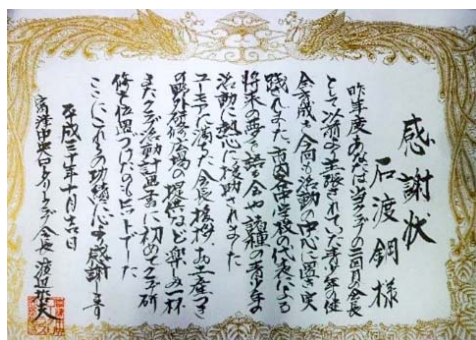
2. スリランカセミナー開催のお知らせ

日時 11月17日(土) 13:~
会場 ガーデンホテル千葉
会費 3,000円

前年度功労者顕彰

作成 千葉一利

受彰者/石渡前会長、平野前幹事、榎本、志波、高島、小野 各会員



＼(^o^)/ 待ち人來たれり



ニコニコBOX

渡辺哲夫会長 三枝ご夫妻をお迎えして
神子勝美幹事 同上

榎本守男、小野恒靖、白石 廣、山田昌雄、須藤 隆、鈴木俊吉、岡田良弘、高橋裕之、渡辺 務

*三枝一雄 今夜は妻がお世話になります



*平野安照 長期の欠席ですみません、今夜の句会母と共に参加致します



出席報告

志波 克 出席担当部長

区分	会員数	出席	欠席	MUp	出席率
今回	34/31	24	7		77.42%
前回	34/30	18	12		60.00%
前々回	34/31	19	12		61.29%

平成30年度富津中央ロータリー恒例会

選者 三枝一雄会員(ホトギス同人)



手順の説明

1. 出句・・・用意された短冊に自分の句を書く
2. 清記・・・これを混ぜてからランダムに出句の数だけ拾い、用意された清記用紙にこれを写し、右肩に自分の番号を記す
3. 選句・・・用意された選句用紙に良いと思う句があれば書き、順次左周りに清記用紙を回し、その中から同様に選句して記入し、自分の番号が来るまで回す。最後にこの内から3句に○を付け提出する。これを互選という
4. 被講・・・各自の出句が選句者の名前の後に読み上げられたら、作者は大声で、苗字ではなく、名を発する
5. 講評・・・互選で呼ばれた回数や、選者の特選を含めて、指導者である選者がコメントや添削を加えて講評する

互選

湊川水面に映る赤蜻蛉	岡田 良弘
蟋蟀の声聴きつつうたたねを	神子 勝美
台風をつめあとさみし柿ひとつ	大網庄一郎
里芋の揺れる葉の上露踊る	須藤 隆
山の端や木立の切り絵月登る	石渡 鋼
虫の音に聴き入る秋の音楽会	渡辺 哲夫
山里の灯数へて月を待つ	三枝かずを
朝六時朝露踏んでお散歩に	林 雅彦
虫を聴く水辺の宿の火を消して	三枝かずを
お隣はまだ賑やかに月の庭	平野 照花
予報ずれ満ちたる月は美しき	高島 治雄

天高く極暑も彼方に翳雲
窓の外ひよつこり名月浮かびをり
還暦に足跡眺め月夜かな
鳴り止まぬ我家の庭で虫の声
庭木立つ影を深める月の庭
月光を散らして揺れる明けの月
籠背負ふ母の面影栗ご飯
秋の夜の月を眺めて月見酒
夕日落ち青き神秘な上総富士
野分にも泰然として目高かな
十三夜庭に集ひし三重奏
月の宴話しつきない同窓会
道沿ひの靴裾濡らす露の玉
出題の月露虫に秋想ふ
猫の目を優しく照らす月明り
寝顔見る秋の夜長の初ひまご
軒下で栗剥く母の姿見ゆ
朝日浴び白くきらめく草の露
熟し柿枝に一粒秋景色
寝返りのたびに冴えゆく虫時雨
満月にかかるすすきはたきがけ
酔人の帰り待ちわぶ月見草
若かりし母の面影門火焚く
嫁ぎ来て夫なき後も月を詠む
月を待つ宿のほとりの橋に佇ち
虫を聴く水辺の宿の灯を消して
立てかけしギター映して露赤く
爽やかに秋空はるか富士の山
月あかりほしの子いずこ我たちぬ

須藤 隆
志波 克
岡田 良弘
渡辺 哲夫
平野 照花
山下 厚
千葉 一利
神子 勝美
鈴木 克彦
同
林 雅彦
白石 廣
高橋 裕之
藤江みどり
同
大網庄一郎
千葉 一利
藤江みどり
作者 不詳
山下 厚
藤江みどり
石渡 鋼
鈴木 俊吉
平野 照花
三枝ふみ代
三枝かずを
榎本 守男
白石 廣
神子 恒

三枝一雄 選

台風をつめあとさみし柿ひとつ	大網庄一郎
蟋蟀の声聴きつつうたたねを	神子 勝美
夕茜映れる川や月を待つ	三枝ふみ代
お隣はまだ賑やかに月の庭	平野 照花
朝日浴び白くきらめく草の露	藤江みどり
錦秋の色鮮やかな十和田湖に	小野 恒靖
嫁ぎ来て夫なき後も月を詠む	平野 照花
寝顔見る秋の夜長の初ひまご	大網庄一郎
観音も化粧直しか秋高し	若鍋 武義

湊川水面に映る赤とんぼ
 湯に浸り聞いて嬉しき虫の声
 賑やかな虫の音聴いて歩く散歩道
 神有月誕生祝ひ出雲にて
 虫の音を聴く度友の笑顔かな
 庭木立つ影を深める月の庭
若かりし母の面影門火焚く
 月を待つ宿のほとりの橋に佇ち
月見宿までの小暗き蟹の路地
 月光を散らして揺れる明けの月
 咲き乱る墓参の道の秋桜
すすきの穂ゆるる川辺は散歩道
星月夜過ぎし季節を懐かしみ
 希林逝き輪島も逝て月暗し
 鳴き止まぬ我家の庭の虫の声
 山の端に切り絵の如く登る月
 藁を打つ槌音軽き祭り前
 月の宴話しつきない同窓会
 美しき予報はづれし今日の月
 湖畔にてたたずみをれば秋の暮
軒下で栗剥く母の姿見ゆ

岡田 良弘
 神子 勝美
 高橋 裕之
 若鍋 武義
 鈴木 俊吉
 平野 照花
鈴木 俊吉
 三枝ふみ代
 同
 山下 厚
 鈴木 俊吉
 白石 廣
高橋 裕之
 石渡 鋼
 渡辺 哲夫
 石渡 鋼
 山田 昌雄
 白石 廣
 高島 治雄
 若鍋 武義
千葉 一利

軒下で栗剥く母の姿見ゆ 千葉 一利
 こほろぎの声聴きつつうたたねを 神子 勝美
台風のつめあとさみし柿ひとつ 大網庄一郎
 ※太字は特選

反省懇親会

岡田良弘 親睦担当部長



皆さん大変お疲れ様でした。特に三枝ご夫妻には今年もご指導頂き有難う御座いました。これからもっと上達するように祈念して、乾杯致しましょう。

地区大会参加

10月28日 ホテルニューオータニ幕張



内モンゴル正装の米山奨学生ソロンガさん



三枝ふみ代 選

お隣はまだ賑やかに月の庭
 里芋の揺れる葉の上露踊る
 谷川の燃える紅葉心うつ
 友の訃を聞いてにはかに露寒く
 錦秋の色鮮やかな十和田湖に
嫁ぎ来て夫なき後も月を詠む
 観音も化粧直しか秋高し
 湊川水面に映る赤とんぼ
 賑やかな虫の音聴いて歩く散歩道
庭木立つ影を深める月の庭
 山里の灯数へて月を待つ
若かりし母の面影門火焚く
 咲き乱る墓参の道の秋桜
 すすきの穂ゆるる川辺は散歩道
藁を打つ槌音軽き祭り前
 月の宴話しつきない同窓会
 虫を聴く水辺の宿の灯を消して

平野 照花
 須藤 隆
 高島 治雄
 三枝かずを
 小野 恒靖
 平野 照花
 若鍋 武義
 岡田 良弘
 高橋 裕之
 平野 照花
 三枝かずを
鈴木 俊吉
 同
 白石 廣
 山田 昌雄
 白石 廣
 三枝かずを